



栃の木からの手紙

2012年 9月号



早出し芋（男爵・とうや）の収穫が始まる8月中旬、美幌瑞泉郷の冠木門（かぶきもん）の傍らの“木槿（むくげ）の花が咲きました。（木槿は、韓国の国花。）

先月号で、“歌舞伎門”と書きましたが、指摘されるまで私の中では、正しい文字だったのです。門の名称を“かぶきもん”と聞いた時に、すでに私の中では、芸能の“歌舞伎”の文字が固定観念として記憶されました。後日、冠木門について調べてみると、「左右の門柱を貫く横木を冠木（かぶき）といい、江戸時代には、屋根を持った平門を指していたが、明治以降は屋根を持たない門を指す事が多いようです。」

9月 長月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

3日：家庭菜園を楽しむ会

7日：白露

9日：重陽の節句（菊の節句）

16日：新月（朔）： 旧暦 8月 朔（1）日

22日：秋分の日

30日：満月（望）： 旧暦 8月15日

：中秋の名月が遅い年は秋が長く、霜も遅い。

また、閏年は秋が長い、と言われている。

7月の餅つき大会の反省。全体として良い行事でしたが、子供達と行っていた割箸の花器作りにおいて最後の締めとして、花器に一輪挿しをさせてあげなかった事を悔やんでいます。しかも、これは私の心の狭さから、子供達の技量を受入れられず、スタッフ夫妻の導きにも気づかずに肝心な所を省く結果になってしまいました。仏 作って 魂 入れず。でも、子供達のエネルギーは凄いですね。ゲーム機で遊んでいる子は1人もいなかった。瑞泉郷を走り回って鬼ごっこをして、コンポストの中に隠れている子もいた…。大切な事は、機会を作る事。地域社会との連携もその一つの方法。

10月21日（日）13時から美幌町民会館“びほーる”
濱宮 郷詞 講演会

“困難を乗り越え 強く生きる”

～人と人 助け合う心、人間として最も大切なこと～

自然農法の畑にキャベツを作付けして3年目。初めて縦畝に導入して6畝作って、初めて販売できる状態のキャベツが出来た。店頭並べたのは48個。販売できたのは25個。ジャガイモの収穫を前に残ったキャベツは、畑に還元した。来年作られる作物の栄養になるように……。





Smile Recipe



～ スマイル・レシピ ～

2012年 9月号

4月から始まった、家庭菜園を楽しむ会。

一回目は、野菜作りの講義。

二回目は、家庭菜園の視察。

三回目は、収穫物の試食会。

先日、無事に家庭菜園のすべての回を終了しましたが、
街中を見てみると、家庭菜園を作っている家が割と多い事に気づきました。

農家では無いのだから、店で買えばいいでしょう…！

そういえば、農家でも家庭菜園をしていますよね…？

心と体の健康志向のなか

家庭菜園は、私達の生活に大切な事を育てているのかな？

美幌瑞泉郷の展示圃場でも今年は、多種類の作物を手掛けましたが、
「これって、どうやって食べるの？」 と、思っている作物ありませんか？

そうです、写真の食用ビート（品種：デトロイト・ダークレッド）



～ 食用ビートのピクルス ～

< ピクルス液 作り方 >

(500ml ガラス容器4個分)

酢 … 700ml

水 … 700ml

砂糖 … 300g

ローリエ … 4枚

黒コショウ … 少々

< 食用ビート ピクルス 作り方 >

- ① 皮をむいて、スティック状に切る
(形は何でも良い、刺身状に切っておくと盛り付けた時にマグロの刺身と間違えるかも)
- ② ピクルス液のローリエ以外を全て混ぜて沸騰させる。
- ③ ①の材料を②に入れて一煮立ちさせる。
- ④ 煮沸消毒した容器に③を注ぎ分けてローリエを1枚ずつ入れて蓋をして終了。
- ⑤ 食べた後のピクルス液は、シソジュース感覚でいただけます。(写真左は、牛乳割。右は、水割)

